2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社ソトー	上場取引所	東・名
コ ー ド 番 号	3571	URL	https://www.sotoh.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 取締役社長	（氏名）	上田　康彦
問合せ先責任者	（役職名） 取締役経営管理部長	（氏名）	小澤　活人　　TEL 0586-45-1121
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月１日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	5,977	2.4	94	△10.2	166	△7.2	315	9.4
2026年３月期中間期	5,837	5.1	104	△30.0	179	△18.6	288	△26.3

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,087百万円（　36.1%）　2026年３月期中間期　799百万円（　32.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	25.88	―
2026年３月期中間期	22.91	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	21,393	15,669	73.2
2026年３月期	19,792	14,910	75.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　15,669百万円　　2026年３月期　14,910百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	15.00	―	27.00	42.00
2027年３月期	―	15.00			
2027年３月期(予想)			―	25.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	11,400	6.4	0	―	160	―	320	△37.9	26.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

連結業績予想については、本日(2026年11月11日)公表いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	13,533,757株	2026年３月期	13,533,757株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,347,324株	2026年３月期	1,347,323株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	12,186,433株	2026年３月期中間期	12,586,563株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に、景気の緩やかな回復が見られましたが、円安や中東情勢の緊迫化に伴うエネルギーや原材料価格の高騰等による物価上昇により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

繊維産業におきましては、天候不順により百貨店等での夏物衣料品の販売が低調に推移し、また、消費者物価上昇による節約志向により高級衣料品の売上減少が懸念されているのに加えて、製品在庫の削減、見込み生産の縮小の動きが見られ、業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くものと思われます。

このような事業環境のもと、当社グループは優れた感性と技術で新しい「価値」を創造し、市場領域及び輸出の拡大を営業戦略として、安定的・持続的成長の実現を目指しております。また、「地球は着替えることができないから」とする当社の環境理念のもと、環境負荷低減活動に取り組むとともに、地域社会やステークホルダーとの共存共栄を図るなど、ＳＤＧｓ活動を積極的に進めてまいります。

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高５９億７千７百万円（前中間連結会計期間比２．４％増）、営業利益９千４百万円（前中間連結会計期間比１０．２％減）、経常利益１億６千６百万円（前中間連結会計期間比７．２％減）、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては補助金収入２億３千１百万円、投資有価証券売却益９千１百万円を計上したこと等により、３億１千５百万円（前中間連結会計期間比９．４％増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（染色加工事業）

ウール織物のコート地につきましては、前年比増加に転じましたが、紳士スーツ地につきましては、カジュアル化の進展による需要減に加えて、中国内需の低迷により安価な中国製品の日本への流入の影響があること、ユニフォーム地におきましては、生産調整の影響を受けていることから、織物が１８億４千１百万円（前中間連結会計期間比０．７％減）、ニットにおきましては、化合繊素材の受注増に伴い１４億８千７百万円（前中間連結会計期間比１３．７％増）となり、売上高３３億２千９百万円（前中間連結会計期間比５．３％増）、営業損益につきましては、原材料の値上り等により、営業損失７千万円（前中間連結会計期間は営業損失１億５千７百万円）となりました。

（製品販売事業）

製品販売事業のうち、テキスタイル販売につきましては、染色加工事業と同じく厳しい市場環境が続いており、前年同期比減収減益となりました。アパレル製品販売につきまして、貸倒引当金７千７百万円を計上したこと等により、売上高２３億８千万円（前中間連結会計期間比２．１％減）、営業利益４百万円（前中間連結会計期間比９５．９％減）となりました。

（不動産事業）

売上高２億６千７百万円（前年同期比１０．０％増）、営業利益１億６千万円（前中間連結会計期間比９．２％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ１６億１百万円増加し、２１３億９千３百万円となりました。主な要因は、仕掛品が７千９百万円、機械装置及び運搬具が９千８百万円減少しましたが、現金及び預金が３億２千４百万円、投資有価証券が１１億３千９百万円、受取手形及び売掛金が２億２千２百万円増加したことであります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ８億４千２百万円増加し、５７億２千４百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が８千９百万円減少しましたが、短期借入金が２億円、長期借入金が１億５千７百万円、繰延税金負債が３億９千６百万円、未払法人税等が１億１千万円、未払費用が５千４百万円増加したことであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ７億５千８百万円増加し、１５６億６千９百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当により３億２千９百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する中間純利益３億１千５百万円を計上したこと、その他有価証券評価差額金が７億９千３百万円増加したことであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、４億２百万円の増加（前中間連結会計期間は６億３千８百万円の増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益５億３千１百万円、減価償却費３億８千７百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加２億７千５百万円、仕入債務の減少８千９百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、１億４百万円の減少（前中間連結会計期間は５億１千７百万円の減少）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出２億１千１百万円、主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入１億８百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、２千６百万円の増加（前中間連結会計期間は４億８千９百万円の減少）となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加２億円、長期借入金による収入２億１千９百万円であり、主な減少要因は、配当金の支払額３億２千６百万円、長期借入金の返済による支出５千９百万円であります。

この結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度と比べ３億２千４百万円増加し、１５億７千６百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、円安や中東情勢の緊迫化に伴うエネルギーや原材料価格の高騰等による物価上昇により、依然として先行き不透明な状況の長期化が懸念されます。

未定としておりました通期見通しにつきましては、足元の事業環境、受注・販売動向その他の現時点において入手可能な情報や予測等に基づいて業績予想を算定し、売上高１１４億円（前連結会計年度比６．４％増）、営業利益０百万円（前連結会計年度は営業損失２億２千９百万円）、経常利益１億６千万円（前連結会計年度は経常損失３千６百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益３億２千万円（前連結会計年度比３７．９％減）を予想しております。

詳細については、本日（2026年11月11日）公表いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,474	1,583,853
受取手形及び売掛金	1,610,555	1,833,378
電子記録債権	95,986	148,346
完成品	1,124,109	1,144,921
仕掛品	490,940	411,181
原材料及び貯蔵品	334,515	378,005
その他	77,495	100,752
貸倒引当金	△50	△19,250
流動資産合計	4,993,027	5,581,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,636,306	2,568,093
機械装置及び運搬具（純額）	1,642,503	1,543,764
土地	2,280,643	2,280,643
リース資産（純額）	8,828	6,650
建設仮勘定	979	8,532
その他（純額）	46,179	42,725
有形固定資産合計	6,615,440	6,450,410
無形固定資産		
その他	52,531	46,482
無形固定資産合計	52,531	46,482
投資その他の資産		
投資有価証券	6,764,707	7,904,213
退職給付に係る資産	977,227	1,006,379
繰延税金資産	198,718	191,557
リース債権	4,516	4,006
その他	189,928	270,849
貸倒引当金	△3,615	△61,392
投資その他の資産合計	8,131,482	9,315,612
固定資産合計	14,799,454	15,812,505
資産合計	19,792,482	21,393,694

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	686,048	596,135
短期借入金	90,000	290,000
１年内償還予定の社債	10,000	10,000
１年内返済予定の長期借入金	103,146	105,602
リース債務	3,645	2,569
未払法人税等	99,499	209,817
未払費用	250,160	304,720
その他	568,633	627,022
流動負債合計	1,811,133	2,145,866
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	245,428	402,750
リース債務	6,047	4,851
退職給付に係る負債	612,531	613,403
長期未払金	50,000	50,000
長期預り保証金	265,804	224,850
繰延税金負債	1,707,479	2,104,162
資産除去債務	163,530	163,530
固定負債合計	3,070,821	3,578,548
負債合計	4,881,954	5,724,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,957,316	3,957,316
利益剰余金	9,281,792	9,268,198
自己株式	△1,375,780	△1,375,781
株主資本合計	11,963,328	11,949,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,628,493	3,421,604
退職給付に係る調整累計額	318,705	297,941
その他の包括利益累計額合計	2,947,199	3,719,546
純資産合計	14,910,527	15,669,280
負債純資産合計	19,792,482	21,393,694

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	5,837,857	5,977,379
売上原価	5,021,062	5,023,903
売上総利益	816,794	953,475
販売費及び一般管理費	711,895	859,229
営業利益	104,899	94,246
営業外収益		
受取利息	1,237	1,175
受取配当金	68,782	69,818
為替差益	729	1,732
その他	8,024	5,994
営業外収益合計	78,773	78,721
営業外費用		
支払利息	3,437	4,888
手形売却損	248	711
控除対象外消費税等	592	456
その他	304	773
営業外費用合計	4,582	6,829
経常利益	179,090	166,137
特別利益		
固定資産売却益	254	4,627
補助金収入	134,080	231,277
投資有価証券売却益	101,901	91,701
保険差益	―	37,264
その他	1,918	―
特別利益合計	238,154	364,869
特別損失		
固定資産処分損	1,440	0
特別損失合計	1,440	0
税金等調整前中間純利益	415,805	531,007
法人税等	127,418	215,567
中間純利益	288,386	315,439
親会社株主に帰属する中間純利益	288,386	315,439

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	288,386	315,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	516,129	793,111
退職給付に係る調整額	△5,432	△20,764
その他の包括利益合計	510,697	772,347
中間包括利益	799,084	1,087,786
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	799,084	1,087,786

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	415,805	531,007
減価償却費	370,178	387,228
貸倒引当金の増減額（△は減少）	315	76,977
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△1,321	△6,193
受取利息及び受取配当金	△70,019	△70,994
保険差益	―	△37,264
支払利息	3,437	4,888
有形固定資産処分損益（△は益）	1,440	0
有形固定資産売却損益（△は益）	△254	△4,627
投資有価証券売却損益（△は益）	△101,901	△91,701
補助金収入	△134,080	△231,277
売上債権の増減額（△は増加）	△268,843	△275,182
棚卸資産の増減額（△は増加）	205,836	15,456
破産更生債権等の増減額（△は増加）	―	△77,807
仕入債務の増減額（△は減少）	△256,903	△89,913
未払費用の増減額（△は減少）	54,842	54,559
未払消費税等の増減額（△は減少）	121,131	3,208
その他	△40,608	△67,889
小計	299,054	120,477
利息及び配当金の受取額	229,519	130,744
利息の支払額	△3,243	△4,709
保険金の受取額	153	37,488
補助金の受取額	134,080	231,277
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△21,489	△112,459
営業活動によるキャッシュ・フロー	638,074	402,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△0	△2
有形固定資産の取得による支出	△730,539	△211,022
有形固定資産の売却による収入	254	4,627
投資有価証券の売却による収入	215,601	108,315
預り保証金の受入による収入	5,898	―
預り保証金の返還による支出	△1,624	△1,624
無形固定資産の取得による支出	△4,340	△1,750
その他	△2,817	△2,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△517,567	△104,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△325,186	△326,396
短期借入金の増減額（△は減少）	△60,642	200,000
長期借入れによる収入	―	219,000
長期借入金の返済による支出	△96,543	△59,221
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
自己株式の取得による支出	△34	△0
その他	△2,242	△2,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△489,648	26,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,033	△489
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△370,176	324,376
現金及び現金同等物の期首残高	1,893,251	1,252,374
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,523,075	1,576,750

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	製品販売事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,162,563	2,432,378	16,875	5,611,817	―	5,611,817
その他の収益	―	―	226,039	226,039	―	226,039
外部顧客への売上高	3,162,563	2,432,378	242,915	5,837,857	―	5,837,857
セグメント間の内部売上高又は振替高	115,991	1,963	6,372	124,326	△124,326	―
計	3,278,554	2,434,342	249,287	5,962,184	△124,326	5,837,857
セグメント利益又は損失(△)	△157,957	115,972	146,885	104,899	―	104,899

（注）１　その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入等であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額(注)
	染色加工事業	製品販売事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,329,537	2,380,623	15,629	5,725,790	―	5,725,790
その他の収益	―	―	251,588	251,588	―	251,588
外部顧客への売上高	3,329,537	2,380,623	267,218	5,977,379	―	5,977,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	126,030	1,658	6,396	134,085	△134,085	―
計	3,455,568	2,382,281	273,614	6,111,464	△134,085	5,977,379
セグメント利益又は損失(△)	△70,933	4,736	160,443	94,246	―	94,246

（注）１　その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入等であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。